

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(3/11)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
みえライフイノベーション総合特区 (三重県)	3.9	4.5  <u>進捗度</u> ・統合型医療情報データベースの活用 《定性的評価》  ・ヘルスケア分野の製品・サービスの増加 100%  ・ヘルスケア産業の振興 1,565%  ・ヘルスケア分野企業(第2創業含む)及び研究機関の立地件数(累計) 113%	2.9  <u>規制の特例等</u> ・健康増進に資する機能性食品の効能効果の表示・広告の実施  <u>地域独自の取組</u> ・医療情報活用推進事業費補助金  ・みえ経営向上支援資金  等	4.0	<p>・全体として進捗状況は良好と評価する。県と三重大学が中核となって意欲的な取組が行われており、企業参入や製品開発、雇用創出に成果を上げていることは評価できる。</p> <p>・新市場開拓規模の想定外の上昇は、今回の目標値の達成には良い結果をもたらしたが、なぜ想定外の上昇が起こったかを分析し、今後の目標値設定に活用されたい。</p> <p>・今後、統合型医療情報データベースの活用などで新たな進展を期待する。また、ヘルスケア分野の製品・サービスの創出に伴う新市場開拓に、統合型医療情報データベースがどの程度貢献しているのかをより明確に把握することが望まれる。</p> <p>・数値目標(3)ヘルスケア産業の振興と(4)ヘルスケア分野企業及び研究機関の立地件数の整合性等、目標値の設定が妥当であるか再検討が必要である。</p>